



PRIMERGY BX900 S1 シャーシ ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品に添付されておりますマニュアル類の内容に追加および訂正事項がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2010年10月
富士通株式会社

1. 「PRIMERGY BX900 S1 マネジメントブレード ユーザーズガイド:B7FH-6541-01」への訂正事項

マネジメントブレード ファームウェア版数 4.62 以降の ServerView Management Blade Frontend(SVMF)および CLI メニューについては、以下の訂正事項をご覧ください。

訂正 「1.3.4 SVMF を使用した初期設定」(関連ページ:15)

以下の記述は削除になります。

重要

- ▶ マネジメントブレードの管理アカウントのパスワードを変更する場合は、コネクションブレードの管理アカウントのパスワードも変更する必要があります。変更を行わないとマネジメントブレードがコネクションブレードの情報を取得できなくなります。

訂正 「2.2.7 基本設定ウィザード(Base Configuration Wizard)」(関連ページ:34)

太字下線部が追記箇所です。

誤)

■ 暗証番号(PIN)

LCD パネルを使用するための暗証番号を設定します。
「暗証番号の有効(PIN enable)」にチェックを付けると、暗証番号を設定できます。

正)

■ 暗証番号(PIN)

LCD パネルを使用するための暗証番号を設定します。
「暗証番号の有効(PIN enable)」にチェックを付けると、暗証番号を設定できます。
なお、暗証番号は、初期値の 0.0.0.0 を設定することはできません。

訂正 「3.2.2 システム設定ページ」(関連ページ:40)

誤)

■ ブレードシステムの情報

<input checked="" type="checkbox"/> 表示の更新	日付と時刻: MM/DD/YYYY HH:MM:SS	<input type="checkbox"/> 識別灯	ブレードシステムの詳細 <input type="checkbox"/>
稼働時間: N day(s) HH:MM:SS	消費電力モード: disable	消費電力状況: 現在値 / 最大値 [W] nnnn/nnnn	
CSS: <input type="checkbox"/>	スケジュールモード		
エラー: <input type="checkbox"/>	消費電力モード: off	残りの電力供給可能量: nnn [W]	

正)

■ ブレードシステムの情報

<input checked="" type="checkbox"/> 表示の更新	日付と時刻: 08/30/2010 11:28:39	<input type="checkbox"/> 識別灯	ブレードシステムの詳細 <input type="checkbox"/>
稼働時間: 35 day(s), 03:48:13	消費電力モード: disable	消費電力状況: 現在値 / 最大値 [W] 873/6000	
エラー: <input type="checkbox"/>	Scheduled Consumption Mode: オフ	残りの電力供給可能量: 3166[W]	

以下の項目が削除になります。

項目	説明
CSS(CSS)	本ブレードシステムでは使用しません。

訂正 「3.3.1 設定項目の概要」(関連ページ:42)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

設定項目メニュー	概要説明
BX900S1 フロントビュー (BX900S1 Front View)	シャーシ前面の状態を表示します。
BX900S1 リアビュー (BX900S1 Rear View)	シャーシ背面の状態を表示します。
コンポーネント(Components)	(→P.44)
ブレードシステム (System)	マネジメントブレード、サーバブレード、コネクションブレード、システム冷却用ファン、電源ユニットの状態や、各部の温度センサーの状態を表示します。
システムユニット (System Unit)	システム情報、システム冷却用ファンの動作とテスト、温度センサーの動作の設定をします。
マネジメントブレード (Management Blades)	マネジメントブレードの情報やイベントログの表示、再起動、動作モードの切り替え、設定のバックアップと復元をします。
サーバブレード (Server Blades)	サーバブレードの情報／状態／イベントログの表示、電源制御、起動設定、設定のバックアップと復元をします。
ストレージブレード (Storage Blades)	ストレージブレードの情報を表示します。
コネクションブレード (Connection Blades)	コネクションブレードの情報の表示、電源制御、設定のバックアップと復元をします。
電源ユニット (Power Supplies)	電源ユニットや <u>ダミー電源ユニット</u> の情報か状態の表示をします。

正)

設定項目メニュー	概要説明
BX900S1 フロントビュー (BX900S1 Front View)	シャーシ前面の状態を表示します。
BX900S1 リアビュー (BX900S1 Rear View)	シャーシ背面の状態を表示します。
コンポーネント(Components)	(→P.44)
ブレードシステム (System)	マネジメントブレード、サーバブレード、コネクションブレード、システム冷却用ファン、電源ユニットの状態や、各部の温度センサーの状態を表示します。
システムユニット (System Unit)	システム情報、システム冷却用ファンの動作とテスト、温度センサーの動作の設定をします。
マネジメントブレード (Management Blades)	マネジメントブレードの情報やイベントログの表示、再起動、動作モードの切り替え、設定のバックアップと復元をします。
サーバブレード (Server Blades)	サーバブレードの情報／状態／イベントログの表示、電源制御、起動設定、設定のバックアップと復元をします。
ストレージブレード (Storage Blades)	ストレージブレードの情報を表示します。
コネクションブレード (Connection Blades)	コネクションブレードの情報の表示、電源制御、設定のバックアップと復元をします。
<u>リアファンユニット (Rear Fan Units)</u>	<u>ダミー電源ユニットの情報や状態を表示します。</u>
電源ユニット (Power Supplies)	電源ユニットの情報か状態の表示をします。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:44)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

項目	説明
コネクションブレード (Connection Blades)	(→P.71)
GbE スイッチブレード-N (GbE Switch Blade-N) [注]	選択したコネクションブレードの情報の表示や設定をします。
FC スイッチブレード-N (FC Switch Blade-N) [注]	
40Gb Ib スイッチブレード-N (40Gb IB Connection Blade-N) [注]	

正)

項目	説明
コネクションブレード (Connection Blades)	(→P.71)
GbE スイッチブレード-N (GbE Switch Blade-N) [注]	選択したコネクションブレードの情報の表示や設定をします。
10GbE スイッチブレード-N (10GbE Switch Blade-N) [注]	
8Gb FC スイッチブレード-N (FC Switch Blade-N) [注]	
8Gb FC パススルーコネクション ブレード(8GB FC Pass Thru Connection Blade-N)	
40Gb Ib スイッチブレード-N (40Gb IB Connection Blade-N) [注]	

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:48)

「● 電源ユニットの状態 (Power Supply Status)」の後に以下の記述が追加になります。

●ハードウェア不適合の状態 (Hardware Mismatch Status)

サーバブレードとコネクションブレードの接続をチェックします。「+」をクリックすると、不具合を起こしているコンポーネントを表示します。

項目	説明
状態 (Health)	状態を表示します
No. (No.)	項番
不適合コンポーネント (Incorrect Component)	不適合を起こしているコンポーネントを表示します。
ポート (Port)	不適合を起こしているポートを表示します。
ポートタイプ (Port Type)	不適合を起こしているポートの種類を表示します。
競合するコンポーネント (Conflicting Component)	不適合を起こしているコネクションブレードを表示します。
ポート (Port)	不適合を起こしているスロット番号を表示します。
説明 (Description)	不適合の詳細情報を表示します。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:50)

誤)

● ファン管理(Fan Control)

ファン管理			個別のファン情報				
状態	ファンユニット 位置	アクセスするブレード	位置	状態	現在の回転数 [RPM]	ファン公称 最大回転数[RPM]	現在のファン 最大回転数[RPM]
✓	PowerSupplyUnit1-ファン	サーバブレード 5-8	PowerSupplyUnit1-ファン-1	✓	5664	13900	5952
			PowerSupplyUnit1-ファン-2	✓	4704	11000	4832
			PowerSupplyUnit1-ファン-3	✓	5728	13900	6400
			PowerSupplyUnit1-ファン-4	✓	4768	11000	5312
			PowerSupplyUnit1-ファン-5	✓	5856	13900	5920
			PowerSupplyUnit1-ファン-6	✓	4576	11000	4704
			PowerSupplyUnit1-ファン-7	✓	5728	13900	5792
			PowerSupplyUnit1-ファン-8	✓	4640	11000	4704

正)

● ファン管理(Fan Control)

ファン管理			個別のファン情報				
状態	ファンユニット 位置	アクセスするブレード	位置	状態	現在の回転数 [RPM]	ファン公称 最大回転数[RPM]	現在のファン 最大回転数[RPM]
✓	電源ユニット1-ファン	サーバブレード 5-8	電源ユニット1-ファン-1	✓	8672	13900	8928
			電源ユニット1-ファン-2	✓	7136	11000	7296
			電源ユニット1-ファン-3	✓	8800	13900	8928
			電源ユニット1-ファン-4	✓	7136	11000	7296
			電源ユニット1-ファン-5	✓	8672	13900	8864
			電源ユニット1-ファン-6	✓	7200	11000	7296
			電源ユニット1-ファン-7	✓	8672	13900	8864
			電源ユニット1-ファン-8	✓	7072	11000	7232

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:50)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● 全ファン停止(All Fans Have Failed)

全ファン停止

全てのFANが故障したときの動作:

適用

項目	説明
全ての FAN が故障したときの動作 (Reaction after all fans have failed or are unavailable)	<ul style="list-style-type: none"> ・continue: ファン故障時にもサーバを継続稼働させます。 ・shutdown-and-poweroff: ファン故障発生時に各サーバの電源を切ってから、シャワーシの電源を切ります (graceful シャットダウン)。 設定する場合は、「5.1 リモート電源切断に関する留意事項」(→P.236)をご覧ください。

正)

● 全ファン停止(All Fans Have Failed)

全ファン停止

全てのファンが故障または使用できないときの動作:

適用

項目	説明
全てのファンが故障または使用できないときの動作 (Reaction after all fans have failed or are unavailable)	<ul style="list-style-type: none"> ・continue: ファン故障時にもサーバを継続稼働させます。 ・shutdown-and-poweroff: ファン故障発生時に各サーバの電源を切ってから、シャワーシの電源を切ります (graceful シャットダウン)。 設定する場合は、「5.1 リモート電源切断に関する留意事項」(→P.236)をご覧ください。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:61)

以下の記述が追加になります。

インフィニバンドカード情報(Infiniband Card Information)

インフィニバンドカード搭載時のみ、インフィニバンドカードの情報を表示します。

項目	説明
状態 (Status)	インフィニバンドポートの状態
No. (No.)	インフィニバンドポートの番号
ポート GUID (Port GUID)	インフィニバンドポートの GUID
カード (Card)	インフィニバンドカードの搭載位置
Ekeying 有効 (Ekeying enabled)	インフィニバンドポートと接続先のコネクションブレードの種類をチェックする機能が有効になっているかどうかを表示します。
コネクションブレード (Connection Blade)	インフィニバンドポートが接続しているコネクションブレードを表示します。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:63)

電源管理 (Power Management) タブに以下の記述が追加になります。

サーバブレードの電源オプション (Server Blade Power Option)

シャーシの電源が投入された時のサーバブレードの電源状態を設定します。設定を変更する場合は「適用 (Apply)」をクリックします。

サーバブレードの電源オプション

電源のリストアポリシー: Always power off

- Always power off
- Always power on
- Restore to power state prior to power loss

項目	説明
Always power off	常に OFF
Always power on	常に ON
Restore to power state prior to power loss	電源が切れた時の状態と同じ動作をします。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:66)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

iRMC アドレス設定 (iRMC Address Configuration)

リモートマネジメントコントローラのネットワークに関する設定をします。

iRMCアドレス設定

ファームウェア版数: ***

管理URL: <http://192.168.1.101>

MACアドレス: ***:***:***:***:***:***

LANポート: LAN 1

DNSサーバ名:

IPv4

DHCP有効:

IPアドレス: . . .

サブネットマスク: . . .

ゲートウェイ: . . .

項目	説明
ファームウェア版数 (Firmware Version)	ファームウェアの版数を表示します。
管理 URL (Administrative URL)	URL を表示します。
MAC アドレス (MAC Address)	MAC アドレスを表示します。
LAN ポート (LAN Port)	LAN ポートの接続先を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •Management LAN: マネジメントブレードの Management LAN ポートが接続されているネットワーク •LAN1: コネクションブレードスロット 1 に搭載したコネクションブレードが接続されているネットワーク •LAN2: コネクションブレードスロット 2 に搭載したコネクションブレードが接続されているネットワーク
DNS サーバ名 (DNS Name)	DNS に登録されるクライアント名を表示します。
DHCP 有効 (Enable DHCP)	チェックを付けると、DHCP を使用してリモートマネジメントコントローラのネットワークの設定をします。 DHCP を使用する場合、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」の設定は必要ありません。
IP アドレス (IP Address)	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク (Subnet Mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ (Gateway)	ゲートウェイを設定します。

正)

iRMC アドレス設定 (iRMC Address Configuration)

リモートマネジメントコントローラのネットワークに関する設定をします。

iRMCアドレス設定

ファームウェア版数: 0476
 管理URL: <http://192.168.1.154>
 MACアドレス: 00:23:8B:AA:2D:73
 LANポート: Management LAN
 DNS名:

IPv4

DHCP有効:

IPアドレス:
 サブネットマスク:
 ゲートウェイ:
 VLAN ID (2-4094):

サービスセッションのアクティブ化

項目	説明
ファームウェア版数 (Firmware Version)	ファームウェアの版数を表示します。
管理 URL (Administrative URL)	URL を表示します。
MAC アドレス (MAC Address)	MAC アドレスを表示します。
LAN ポート (LAN Port)	LAN ポートの接続先を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •Management LAN: マネジメントブレードの Management LAN ポートが接続されているネットワーク •LAN1: コネクションブレードスロット 1 に搭載したコネクションブレードが接続されているネットワーク •LAN2: コネクションブレードスロット 2 に搭載したコネクションブレードが接続されているネットワーク
DNS サーバ名 (DNS Name)	DNS に登録されるクライアント名を表示します。
DHCP 有効 (Enable DHCP)	チェックを付けると、DHCP を使用してリモートマネジメントコントローラのネットワークの設定をします。 DHCP を使用する場合、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」の設定は必要ありません。
IP アドレス (IP Address)	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク (Subnet Mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ (Gateway)	ゲートウェイを設定します。
<u>VLAN ID (2-4094)</u>	<u>VLAN ID を設定します。本機能は未サポートです。</u>

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:69)

太字下線部が追記箇所です。

誤)

● バックアップ/復元(Backup/Restore)タブ



- ▶ サーバブレードの電源がオフのとき、および POST(Power On Self Test:起動時に行われる装置チェック)実行中は、BIOS のバックアップ、復元を行うことができません。
- ▶ 本機能では、リモートマネジメントコントローラの設定のバックアップおよび復元はできません。リモートマネジメントコントローラの設定のバックアップや復元を行う場合は、「iRMC (iRMC)」(→P.93)をご覧ください。

正)

● バックアップ/復元(Backup/Restore)タブ



- ▶ サーバブレードの電源がオフのとき、および POST(Power On Self Test:起動時に行われる装置チェック)実行中は、BIOS のバックアップ、復元を行うことができません。
- ▶ 本機能では、リモートマネジメントコントローラの設定のバックアップおよび復元はできません。リモートマネジメントコントローラの設定のバックアップや復元を行う場合は、「iRMC (iRMC)」(→P.93)をご覧ください。
- ▶ **本タブは、BX960 S1 サーバブレードでは表示されません。**

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:71)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● 情報(Information)タブ

```
ブレード情報
製造元: *****
製造年月日: MM/DD/YYYY HH:MM:DD
シリアル番号: *****
製品名: *****
ユニット図番: *****
ハードウェア版数: ***
ファームウェア版数: ***
ファームウェアモード: Switch
スタッキングの状態: Master
管理ポートMACアドレス: **:*:*:*:*:*:**
管理URL: http://192.168.1.161/
コネクションブレードへのコンソールリダイレクションにて「boot system mode」のコマンドを実行することにより、switchモード / IBPモードの切り替えを行うことができます。
```

項目	説明
ファームウェアモード(Firmware Mode)	ファームウェアのモード
スタッキングの状態(Stacking Status) [注]	内部スタッキングポートの状態を示します。
管理ポート MAC アドレス (Management Port MAC Address)	管理用ポートの MAC アドレス
管理 URL (Administrative URL)	コネクションブレード管理用の URL

注: この項目は LAN スイッチブレード(1Gbps 36/8+2)にのみ表示されます。

正)

● 情報(Information)タブ

```
ブレード情報
製造元: *****
製造年月日: MM/DD/YYYY HH:MM:DD
シリアル番号: *****
製品名: *****
ユニット図番: *****
ハードウェア版数: ***
ファームウェア版数: ***
ファームウェアモード: Switch ⓘ
スタッキングの状態: Master
管理ポートMACアドレス: **:*:*:*:*:*:**
管理URL: http://0.0.0.0/
```

項目	説明
ファームウェアモード (Firmware Mode) [注 2]	ファームウェアのモード
スタッキングの状態 (Stacking Status) [注 1][注 2]	内部スタッキングポートの状態を示します。
管理ポート MAC アドレス (Management Port MAC Address) [注 2]	管理用ポートの MAC アドレス
管理 URL (Administrative URL) [注 2]	コネクションブレード管理用の URL

注 1: この項目は LAN スイッチブレード(1Gbps 36/8+2)にのみ表示されます。

注 2: 8Gb FC パススルーコネクションブレードでは表示されません。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:72)

太字下線部が追記箇所です。

誤)

● 設定(Configuration)タブ

コネクションブレード名 (User Assigned Name)

コネクションブレードを識別するための名称を入力します。「適用 (Apply)」をクリックすると設定が反映されます。

正)

● 設定(Configuration)タブ



▶ **本タブは 8Gb FC パススルーコネクションブレードでは表示されません。**

コネクションブレード名 (User Assigned Name)

コネクションブレードを識別するための名称を入力します。「適用 (Apply)」をクリックすると設定が反映されます。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:73)

太字下線部が追記箇所です。

誤)

● 設定(Configuration)タブ

管理ポートの設定 (Management Port Settings)

管理ポートの設定		設定値:	現在値:
DHCP有効:	<input checked="" type="checkbox"/>		NO-DHCP
IPアドレス:	<input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>		192.168.1.83
サブネットマスク:	<input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>		255.255.255.0
ゲートウェイアドレス:	<input type="text" value="46"/> . <input type="text" value="48"/> . <input type="text" value="46"/> . <input type="text" value="48"/>		0.0.0.0
*設定は3分後に有効になります。		<input type="button" value="適用"/>	<input type="button" value="設定の確認"/>

項目	説明
DHCP 有効 (Enable DHCP)	DHCP を使用するかどうか選択します。 ・NO-DHCP: DHCP を使用しません。 ・DHCP: DHCP を使用します。DHCP を使用する場合、「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」の設定は必要ありません。
IP アドレス (IP Address)	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク (Subnet Mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイアドレス (Gateway Address)	ゲートウェイのアドレスを指定します。

正)

● 設定(Configuration)タブ

管理ポートの設定(Management Port Settings)

管理ポートの設定	
設定値	現在値
DHCP有効: <input checked="" type="checkbox"/>	DHCP
DHCPサーバ名: <input type="text" value="FUJITSU"/>	FUJITSU
IPアドレス: <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>	0.0.0.0
サブネットマスク: <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス: <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>	0.0.0.0

注: 設定は3分後に有効になります。

項目	説明
DHCP 有効(Enable DHCP)	DHCP を使用するかどうか選択します。 ・NO-DHCP: DHCP を使用しません。 ・DHCP: DHCP を使用します。DHCP を使用する場合、「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」の設定は必要ありません。
DHCP サーバ名(DHCP Client Name)	DHCP サーバに通知するコネクションブレードの名称を設定します。
IP アドレス(IP Address)	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク(Subnet Mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイアドレス(Gateway Address)	ゲートウェイのアドレスを指定します。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:74)

「設定値の初期化(Reset Interface Settings default)」の前に以下の記述が追加になります。

● Downlink Port Group Speed Settings

本項目は LAN スイッチブレード(10Gb 18/8)を選択したときのみ表示されます。
本機能は未サポートです。

Downlink Port Group Speed Settings																				
<input type="checkbox"/> 1000 Mbps	<input checked="" type="checkbox"/> 10 Gbps	<input type="checkbox"/> N/A																		
Associated Server Bays	<table border="1"> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>17</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> </tr> <tr> <td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>18</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td> </tr> </table>	1	2	3	4	17	5	6	7	8	9	10	11	12	18	13	14	15	16	Associated Server Bays
1	2	3	4	17	5	6	7	8												
9	10	11	12	18	13	14	15	16												
Port Group: <input type="text" value="Server Bays 1, 9"/>																				
Port Group Speed: <input checked="" type="radio"/> 10 Gbps <input type="radio"/> 1000 Mbps																				

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:74)

太字下線部が追記箇所です。

誤)

設定値の初期化(Reset Interface Settings default)

以下の項目をデフォルト設定値に戻します。

- ・ コネクションブレード名
- ・ DHCP OOB の設定
- ・ 内部スタッキングリンク
- ・ 管理ポートの選択
- ・ ボーリング設定

正)

設定値の初期化(Reset Interface Settings default)

次の項目をデフォルト設定値に戻します。

- ・ コネクションブレード名
- ・ DHCP OOB の設定
- ・ 内部スタッキングリンク
- ・ **Downlink Port Group Speed**
- ・ 管理ポートの選択
- ・ ポーリング設定
- ・ **ファームウェアモード [注]**

注：8Gb FC スイッチブレードでは表示されません。

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:75)

「**電源ユニット(Power Supplies)**」の前に以下の記述が追加になります。

■ リアファンユニット(RearFan Units)

選択したダミー電源ユニットの情報や状態の表示をします。

電源ユニット内部やファンの情報(Unit Information)

ダミー電源ユニットの情報や状態の表示をします。

電源ユニット内部やファンの情報	
製造元:	ASTECC
製品名:	AA25370L-RFN
ユニット図番:	A3C40094164
製品版数:	BB
シリアル番号:	G818DG005M0CF
ファームウェア版数:	3.8
ハードウェア版数:	0C
製造年月日:	20160000
CSSコンポーネント:	はい
ファンの詳細: リアファンユニットとファン	

項目	説明
製造元(Manufacturer)	製造元
製品名(Product Name)	製品名
ユニット図番(Model Name)	ユニット図番
製品版数(Product Version)	製品版数
シリアル番号(Serial Number)	シリアル番号
ファームウェア版数(Firmware Version)	ファームウェア版数
ハードウェア版数(Hardware Version)	ハードウェア版数
製造年月日(Production Date)	製造年月日
CSS コンポーネント(CSS Component)	本ブレードシステムでは使用しません
ファンの詳細(Fan Details)	ファンの詳細情報を表示します

訂正 「3.3.2 コンポーネント(Components)」(関連ページ:75)

「**電源ユニット(Power Supplies)**」について、以下の記述に読み替えてください。

■ 電源ユニット(Power Supplies)

選択した電源ユニットの情報や状態の表示をします。

「監視(Monitoring)」「情報(Information)」のタブがあり、切り替えることで設定する項目を変更します。

● 監視(Monitoring)タブ

電源ユニット関連の情報(Group Status Information)

電源ユニットの状態を表示します。

電源ユニット関連の情報	
電源ユニットの状態:	ok
電源ユニットの冗長状態:	no

項目	説明
電源ユニットの状態 (Status)	電源ユニット全体の状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ok: 正常に動作中です。 • degraded: 問題が起きています。 • critical: 重大な問題が起きています。
電源ユニットの冗長状態 (Redundancy)	電源ユニットの冗長構成の状態を表示します。

電源ユニット内部やファンの情報(Unit Information)

電源ユニットおよび電源ユニット内のファンや、電源の状態を表示します。

電源ユニット内部やファンの情報	
ファン 1 状態: ok	電流の共有状況: ok
ファン 2 状態: ok	
ファン 3 状態: ok	
ファン 4 状態: ok	
ファン 5 状態: ok	
ファン 6 状態: ok	
ファン 7 状態: ok	
ファン 8 状態: ok	
過電圧防止機能: ok	電源の入力定格: 200 ~ 240 VAC
低電圧防止機能: ok	
過電流防止機能: ok	温度: 48°C

項目	説明
ファン N 状態 (Fan N Status) (N は 1~8)	ファンの状態
過電圧防止機能(OVP 12V Status)	過電圧防止機能の状態
低電圧防止機能(UVP 12V Status)	低電圧防止機能の状態
過電流防止機能(OCV 12V Status)	過電流防止機能の状態
電流の共有状況 (Current Share Status)	電源ユニット間での電流の共有状況
電源の入力定格 (AC Range Status)	電源の入力定格値
温度 (Temperature)	電源ユニットの温度

● 情報 (Information) タブ

電源ユニットについての情報を表示します。

電源ユニット
製造元: *****
製品名: *****
ユニット図番: *****
製品版数: ***
シリアル番号: *****
ファームウェア版数: ***
ハードウェア版数: ***
製造年月日: YYYYMMDD

項目	説明
製造元 (Manufacturer)	製造元
製品名 (Product Name)	製品名
ユニット図番 (Model Name)	ユニット図番
製品版数 (Product Version)	製品版数
シリアル番号 (Serial Number)	シリアル番号
ファームウェア版数 (Firmware Version)	ファームウェア版数
ハードウェア版数 (Hardware Version)	ハードウェア版数
製造年月日 (Production Date)	製造年月日

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ:78)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● イベントログの保存 (Export Event Log)

イベントログの保存

保存するメディア: USBデバイス-sda1 ローカルファイル

USBデバイスへの保存ファイル名: /mnt/sda1/

USBデバイスへの保存状況: 待機中

全イベントログの保存: 開始

項目	説明
USB デバイスへの保存ファイル名 (USB Export File)	USB メモリにイベントログを保存する場合のファイル名を設定します。

正)

● イベントログの保存 (Export Event Log)

イベントログの保存

保存するメディア: USBデバイス-sda1 ローカルファイル

USB出力ファイル: /mnt/sda1/

保存状況: 待機中

全イベントログの保存: 開始

項目	説明
USB 出力ファイル (USB Export File)	USB メモリにイベントログを保存する場合のファイル名を設定します。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ:80)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● ブレードシステム情報の保存設定 (Dump Settings)

ブレードシステム情報の保存設定

保存するメディア: USBデバイス-sda1 ローカルファイル

USBデバイスへの保存ファイル名: /mnt/sda1/

USBデバイスへの保存閲覧状況: 待機中

情報の保存 情報の閲覧

項目	説明
USB デバイスへの保存ファイル名 (USB Export File)	USB メモリにイベントログを保存する場合のファイル名を設定します。

正)

● ブレードシステム情報の保存設定 (Dump Settings)

ブレードシステム情報の保存設定

保存するメディア: USBデバイス-sda1 ローカルファイル

USB出力ファイル: /mnt/sda1/

USBデバイスへの保存閲覧状況: 待機中

情報の保存 情報の閲覧

項目	説明
USB 出力ファイル (USB Export File)	USB メモリにイベントログを保存する場合のファイル名を設定します。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ:80)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

- システム情報の保存 2(Dump Post Mortem)

正)

- システム情報の保存 (Dump Post Mortem)

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ:83)

太字下線部が追記・訂正箇所です。

誤)

強制電源切断 (Power Switch)

強制電源切断	
強制電源切断機能:	<input type="checkbox"/>
電源切断失敗後、強制電源切断が働くまでの待ち時間 (1-7):	5 分
適用	

項目	説明
強制電源切断機能 (Enable Force Power-Off)	チェックを付けると、SVMF や CLI で電源切断命令を入力してから「電源切断失敗し強制電源切断が働くまでの待ち時間 (Delay After Power-Off Failed) (1-7)」で設定した時間が経過しても電源を切れなかった場合に、強制的に電源を切断します。
強制切断失敗後、強制電源切断が働くまでの待ち時間 (Delay After Power -Off Failed) (1-7)	強制的に電源を切断するまでの待ち時間を1〜7分の間で設定します。

正)

電源スイッチ (Power Switch)

電源スイッチ	
強制電源切断機能:	<input type="checkbox"/>
電源切断失敗後、強制電源切断が働くまでの待ち時間 (1-7):	5 分
最後のサーバブレード停止後システムユニットの電源を切断:	<input type="checkbox"/>
適用	

項目	説明
強制電源切断機能 (Enable Force Power-Off)	チェックを付けると、SVMF や CLI で電源切断命令を入力してから「電源切断失敗し強制電源切断が働くまでの待ち時間 (Delay After Power-Off Failed) (1-7)」で設定した時間が経過しても電源を切れなかった場合に、強制的に電源を切断します。
電源切断失敗後、強制電源切断が働くまでの待ち時間 (Delay After Power-Off Failed) (1-7)	強制的に電源を切断するまでの待ち時間を1〜7分の間で設定します。
最後のサーバブレード停止後システムユニットの電源を切断 (Power Off System Unit After Last Server Blade Stopped)	全てのサーバブレードの電源切断後にシステムの電源を切断します。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ: 83)

制御 (Control) タブに以下の記述が追加になります。

スケジュール運転の設定 (Power-On/Off Time)

システムの運転スケジュールを設定します。

項目	説明
電源投入時刻	「HH:MM」形式で設定した時刻にシステムの電源を入れます スケジュール運転する曜日それぞれに設定してください。 毎日同じ設定でスケジュール運転する場合は、「毎日 (Everyday)」のみ設定してください。
電源切断時刻	「HH:MM」形式で設定した時刻にシステムの電源を切断します。スケジュール運転する曜日それぞれに設定してください。 毎日同じ設定でスケジュール運転する場合は、「毎日 (Everyday)」のみ設定してください。
トラップ	電源投入・電源切断で設定した時刻の前にトラップを送信します。設定できる範囲は 0～255 分です。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ: 84)

太字下線部が削除・訂正箇所です。

誤)

電力の供給状況の表示・設定 (Power Consumption Options)

項目	説明
消費電力モニタリング有効 (Enable Power Monitoring History)	チェックを付けると、電源供給に関する設定を有効にします。
消費電力モード (Consumption Mode)	<ul style="list-style-type: none"> • disable: 電力供給モードを使用しません。 • Consumption Control: 電力供給管理モードで運用します。 • Consumption Limitation: 電力供給制限モードで運用します。 • Scheduled Consumption Mode: 電力供給スケジュールに沿った運用を行います。
電源ユニット管理の設定 (Enable PSU Control)	チェックを付けると、電源ユニットの制御に関する設定を有効にします。
電源ユニットの数 (Number of PSUs)	電源ユニットの搭載台数を表示します。
正常な電源ユニット (Available PSUs)	正常に動作する電源ユニットの数を表示します。
ダイナミックモード (Enable PSU Dynamic Mode)	チェックを付けると、電源ユニットのダイナミックモード(電源供給量に応じて電源ユニットの使用を制御する)を有効にします。

項目	説明
電源ユニットの冗長構成 (Redundancy)	電源ユニットの冗長構成を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •No Redundancy: 冗長構成を使用しません。 •Full Redundancy: 冗長構成を使用します。 •A+B: 通常は A 台を使用して、B 台は予備電源として故障などが発生した場合に切り替えます。 設定可能な組み合わせは「3+3」「2+2」「2+1」「3+1」「4+1」「5+1」です。
<u>表示単位 (Display Unit)</u>	<u>表示する単位を切り替えます。</u> <ul style="list-style-type: none"> •Watt •BTU/h
<u>しきい値の定義方法 (Threshold Definition)</u>	<u>しきい値の表示方法を設定します。</u> <ul style="list-style-type: none"> •Reactive: 使用している電力から相対的にしきい値を表示します。 •Absolute: しきい値の絶対値を表示します。

正)

電力の供給状況の表示・設定 (Power Consumption Options)

項目	説明
消費電力モニタリング有効 (Enable Power Monitoring History)	チェックを付けると、電源供給に関する設定を有効にします。
消費電力モード (Consumption Mode)	<ul style="list-style-type: none"> •disable: 電力供給モードを使用しません。 •Consumption Control: 電力供給管理モードで運用します。 •Consumption Limitation: 電力供給制限モードで運用します。 •Scheduled Consumption Mode: 電力供給スケジュールに沿った運用を行います。
電源ユニット管理の設定 (Enable PSU Control)	チェックを付けると、電源ユニットの制御に関する設定を有効にします。
電源ユニットの数 (Number of PSUs)	電源ユニットの搭載台数を表示します。
正常な電源ユニット (Available PSUs)	正常に動作する電源ユニットの数を表示します。
ダイナミックモード (Enable PSU Dynamic Mode)	電源ユニットのダイナミックモードの設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> •無効: 電源ユニットのダイナミックモードを無効にします。 •デフォルト: 電源ユニットのダイナミックモード(電源供給量に応じて電源ユニットの使用を制御する)を有効にします。 •拡張: 電源ユニットの稼働数を「デフォルト」モードより減らすことでさらに電力効率を高めることができます。 本機能は未サポートです。本モードは選択しないでください。
電源ユニットの冗長構成 (Redundancy)	電源ユニットの冗長構成を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •No Redundancy: 冗長構成を使用しません。 •A+B: 通常は A 台を使用して、B 台は予備電源として故障などが発生した場合に切り替えます。 設定可能な組み合わせは「3+3」「2+2」「2+1」「3+1」「4+1」「5+1」です。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ: 86)

● 電源管理設定 (Power Settings) について、以下の記述に読み替えてください。

電源供給制限 (Consumption Limitation)

項目	説明
電力制限しきい値 [注] (Limit Threshold)	電源供給の制限しきい値を設定します。 現在の消費電力 (表示されている値) より大きな値を設定してください。
警告しきい値 [注] (Warning Threshold) (1-100)	電源供給に関する警告を通知するしきい値を設定します。
ダイナミック電力管理が有効 [注]	チェックを付けると、しきい値を超えた場合に消費電力を下げるようサーバブレードを制御します。
連続許容期間 (Limit Duration Time) (1-7200) [注]	警告を通知するしきい値を超えてから実際に通知や設定した動作を実行するまでの猶予期間 (秒) を設定します。
制限到達時の動作 (Action after Limit exceeded) [注]	制限しきい値を超えた場合の処理を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •continue: プレードシステムの動作を継続します。 •graceful shutdown and off: サーバブレードで動作する ServerView エージェントが、OS のシャットダウンをして電源を切ります。設定する場合は、「5.1 リモート電源切断に関する留意事項」(→P.236) をご覧ください。 •hard power off: プレードシステムの電源を強制的に切ります。
しきい値の定義方法 (Threshold Definition) [注]	しきい値の表示方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •Reactive: 使用している電力から相対的にしきい値を表示します。 •Absolute: しきい値の絶対値を表示します。

注: 本項目はダイナミックモードで"拡張"を選択した場合は設定できません。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ: 88)

以下の記述が追加になります。

● **電源投入/切断順序 (Sequence Power-On/Off Time) タブ**

サーバブレードの電源起動・切断の順序を設定します。設定を変更する場合は「適用 (Apply)」をクリックします。

電源投入/切断ポリシー

項目	説明
スケジュールした電源投入/切断時刻を有効にする (Enable Sequence Power-On/Off Time)	設定した電源投入/切断時刻を有効にします
システムユニットの電源投入後、サーバブレードの電源投入までの待ち時間 (Server Blade Power-On Delay After System Unit Power-On) (0-60)	システムユニットの電源投入後、サーバブレードの電源投入までの待ち時間を設定します。設定できる範囲は 0~60 分です。
構成サーバベイ (Participating Server Bays)	選択したサーバブレードについて電源起動・切断の設定ができます

電源投入順序

サーバブレード電源投入順序/電源 ON させるブレードサーバを右のウインドウに設定することによって、起動順序を昇順で設定します。

項目	説明
サーバブレード電源投入順序 (Server Blade Power-On Sequence)	電源 ON させるブレードサーバを右のウインドウに設定することによって、起動順序を昇順で設定します。
Delay Between Two Server Blades (0-10)	サーバブレード電源投入から次のサーバブレード電源投入までの時間を設定します。設定できる範囲は 0~10 分です。

電源切断順序

サーバブレード電源切断順序/電源 OFF させるブレードサーバを右のウインドウに設定することによって、切断順序を昇順で設定します。

項目	説明
サーバブレード電源切断順序 (Server Blade Power-Off Sequence)	電源 OFF させるブレードサーバを右のウインドウに設定することによって、切断順序を昇順で設定します。
サーバブレードの電源切断動作 (Server Blade Power-Off Action)	Graceful Shutdown and Power Off と Hard Power Off を選択できます。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ:93)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

バックアップするパラメータ群 (Backup Parameter Set)

- ・「グループ (Group)」を選択すると、各設定のグループ名「Include Network Settings」「Include User Settings」「Include License Settings」「Include SSL and SSH Certificate」「All other Firmware settings」が表示されます。

正)

バックアップするパラメータ群 (Backup Parameter Set)

- ・「グループ (Group)」を選択すると、各設定のグループ名「ローカルユーザー」「グローバルユーザー」「IP の設定」「DNS の設定」「ネーミング」が表示されます。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ:96)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

設定を復元 (Restoration Parameter Set)

- ・「グループ (Group)」を選択すると、各設定のグループ名「Include Network Settings」「Include User Settings」「Include License Settings」「Include SSL and SSH Certificate」「All other Firmware settings」が表示されます。

正)

設定を復元 (Restoration Parameter Set)

- ・「グループ (Group)」を選択すると、各設定のグループ名「ローカルユーザー」「グローバルユーザー」「IP の設定」「DNS の設定」「ネーミング」が表示されます。

訂正 「3.3.4 設定 (Settings)」(関連ページ:103)

設定項目メニューで表示される内容について、以下の記述に読み替えてください。

項目	説明
システムユニット (System Unit)	
ネットワークインタフェース (Network Interface)	ネットワークの設定をします。(→ P.103)
Service LAN	サービス LAN の設定をします。
Management LAN	マネージメント LAN の設定をします。 「VLAN (VLAN)」タブは選択しないでください。
AuDi-MIP (AuDi-MIP)	マネージメントブレードやコネクシオンブレードの IP アドレスの自動割当を設定します。
SNMP (SNMP)	SNMP の設定をします。(→ P.108)
リモート通知 (Alerting)	イベントログへの記録の設定と問題発生時のメール送信の設定をします。(→ P.112)
日付と時刻 (Date/Time)	システムの日時、タイムゾーン、NTP の設定をします。(→ P.113)
表示の更新 (Refresh)	SVMF に表示される更新頻度の設定をします。(→ P.114)
言語 (Language)	SVMF の表示言語の設定をします。(→ P.115)
基本設定ウィザード (Base Configuration Wizard)	ブレードシステムの基本的な設定をウィザード形式で実行します。 (→ P.116)

訂正 「3.3.4 設定 (Settings)」(関連ページ:103)

「■ ネットワークインタフェース (Network Interface)」について、以下の記述に読み替えてください。

■ ネットワークインタフェース (Network Interface)

Service LAN と Management LAN のネットワーク設定をします。

● Service LAN

Service LAN のネットワーク設定をします。設定を変更した後、「適用 (Apply)」をクリックすると設定を反映します。

Port Configuration

Enable IP Protocol Versions: IPv4 IPv4 and IPv6

デュプレックスモードの確認: Auto-negotiation

デュプレックスモードの設定: Auto-negotiation

IP Address Settings

IPv4

IPアドレス: 192 . 138 . 1 . 1

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイ: 0 . 0 . 0 . 0

IPv6

Link Local IP Address:

DHCPv6有効:

Global IP Addresses:

項目	説明
Port Configuration (Port Configuration)	
Enable IP Protocol Versions (Enable IP Protocol Versions)	有効にするプロトコルを選択します。
デュプレックスモードの確認 (Duplex Execution Mode)	データの転送速度の状況を表示します。
デュプレックスモードの設定 (Duplex Setting Mode)	データの転送速度の状況を指定します。 ・Auto-negotiation: オートネゴシエーション ・100 Full Mode: 100Mbps 全二重固定 ・100 Half Mode: 100Mbps 半二重固定 ・10 Full Mode: 10Mbps 全二重固定
IP Address Settings (IP Address Settings)	
IPv4	IPv4 の設定をします。
IP アドレス (IP Address)	IP アドレスを設定します。[注 1]
サブネットマスク (Subnet Mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ (Gateway)	ゲートウェイのアドレスを設定します。[注 2]
IPv6	IPv6 の設定をします。
Link Local IP Address (Link Local IP Address)	リンクローカル IP アドレスを表示します。
DHCPv6 有効 (Enable DHCPv6)	DHCP サーバを使用して設定を行う場合、チェックを付けます。
Global IP Addresses (Global IP Addresses)	グローバル IP アドレスを表示します。 1 行目: Static IP Address 2 行目: Stateless IP Address 3 行目: Stateful IP Address

注 1: Service LAN ポートと Management LAN ポートには異なるセグメントの IP アドレスを設定してください。ネットワークに接続するときは、それぞれ異なるネットワークに接続してください。

注 2: ゲートウェイは Service LAN ポートと Management LAN ポートのどちらか片方のみ設定してください。2 つのゲートウェイを設定すると不具合が発生する場合があります

● Management LAN

「ネットワークの設定 (Ethernet)」 「IP フィルタリング (IP Filter)」のタブを切り替えることで設定する項目を変更します。

ネットワークの設定 (Ethernet) タブ

ネットワークの設定をします。設定を変更した後、「適用 (Apply)」をクリックすると設定を反映します。

Port Configuration

Enable IP Protocol Versions: IPv4 IPv4 and IPv6

ダウンリンクポート
 デュプレックスモードの確認: Auto-negotiation
 デュプレックスモードの設定: Auto-negotiation ▼

アップリンクポート
 デュプレックスモードの確認: Auto-negotiation
 デュプレックスモードの設定: Auto-negotiation ▼

注: ダウンリンクポートはMMMBの一番右にあるLANポートです。アップリンクポートはその一つ左にあるポートです。

IP Address Settings

IPv4
 DHCP有効:
 IPアドレス: 10 . 21 . 78 . 120
 サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
 ゲートウェイ: 10 . 21 . 78 . 1

IPv6
 Link Local IP Address:
 DHCPv6有効:
 Global IP Addresses:

DNSの設定

DNSv4
 DNS設定をDHCPから取得:
 DNSサーバ 1: 0 . 0 . 0 . 0
 DNSサーバ 2: 0 . 0 . 0 . 0

DNSv6
 DNS設定をDHCPから取得:
 DNSサーバ 1:
 DNSサーバ 2:

Web Based Access

HTTP Port: 80

HTTPSの有効:
 HTTPSポート: 443
 強制HTTPSの有効:
 クライアント認証の有効:

Text Based Access

Telnetの有効:
 Telnet Port: 3172

SSHの有効:
 SSHポート: 22

セッションタイムアウト

Session Timeout For Web Based And Text Based Access (30-65535): 900 秒
 Note: 0 means disable timeout.

[適用]

項目	説明
Port Configuration (Port Configuration)	
Enable IP Protocol Versions (Enable IP Protocol Versions)	有効にするプロトコルを選択します
ダウンリンクポート	ダウンリンクポートの状況を表示/指定します。
デュプレックスモードの確認	データの転送速度の状況を表示します。
デュプレックスモードの設定	データの転送速度の状況を指定します。 ・Auto-negotiation: オートネゴシエーション ・100 Full Mode: 100Mbps 全二重固定 ・100 Half Mode: 100Mbps 半二重固定 ・10 Full Mode: 10Mbps 全二重固定 ・10 Half Mode: 10Mbps 半二重固定
アップリンクポート	アップリンクポートの状況を表示/指定します。
デュプレックスモードの確認	データの転送速度の状況を表示します。
デュプレックスモードの設定	データの転送速度の状況を指定します。 ・Auto-negotiation: オートネゴシエーション ・100 Full Mode: 100Mbps 全二重固定 ・100 Half Mode: 100Mbps 半二重固定 ・10 Full Mode: 10Mbps 全二重固定 ・10 Half Mode: 10Mbps 半二重固定

項目	説明
IP Address Settings	IP アドレスの設定をします。
IPv4	IPv4 の設定をします。
DHCP 有効(Enable DHCP)	DHCP サーバを使用して設定を行う場合、チェックを付けます。チェックを付けた場合は、「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」の設定は不要です。
IP アドレス (IP Address)	IP アドレスを設定します。[注 1]
サブネットマスク (Subnet Mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ (Gateway)	ゲートウェイのアドレスを設定します。[注 2]
IPv6	IPv6 の設定をします。
Link Local IP Address (Link Local IP Address)	リンクローカル IP アドレスを表示します。
DHCPv6 有効(Enable DHCPv6)	DHCP サーバを使用して設定を行う場合、チェックを付けます。
Global IP Addresses (Global IP Addresses)	グローバル IP アドレスを表示します。 1 行目 : Static IP Address 2 行目 : Stateless IP Address 3 行目 : Stateful IP Address
DNS の設定 (Domain Name Server)	DNS の設定をします。
DNSv4	DNSv4 の設定をします。
DNS 設定を DHCP から取得 (Obtain DNS configuration from DHCP)	チェックを付けると、DHCP から DNS の情報を取得します。チェックを付けた場合は、「DNS サーバ 1」「DNS サーバ 2」の設定は不要です。
DNS サーバ 1 (DNS Server 1)	プライマリ DNS サーバのアドレスを指定します。
DNS サーバ 2 (DNS Server 2)	セカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。
DNSv6	DNSv6 の設定をします。
DNS 設定を DHCP から取得 (Obtain DNS configuration from DHCP)	DNS 設定を DHCP から取得チェックを付けると、DHCP から DNS の情報を取得します。チェックを付けた場合は、「DNS サーバ 1」「DNS サーバ 2」の設定は不要です。
DNS サーバ 1 (DNS Server 1)	プライマリ DNS サーバのアドレスを指定します。
DNS サーバ 2 (DNS Server 2)	セカンダリ DNS サーバのアドレスを指定します。
Web Base Access (Web Base Access)	HTTP の設定をします。
Port (Port)	HTTP のポート番号を指定します。 この設定は、「適用 (Apply)」をクリックした後、10 秒以上経過してから反映されます。
HTTPS の有効 (Enable HTTPS)	チェックを付けると、HTTPS を有効にします。 チェックを付けると、HTTPS を有効にします。 この設定は、「適用 (Apply)」をクリックした後、15 秒以上経過してから反映されます。
HTTPS ポート (HTTPS Port)	HTTPS のポート番号を指定します。
強制 HTTPS の有効 (Force HTTPS)	チェックを付けると、HTTPS での接続のみを許可します。
クライアント認証の有効 (Enable Client Authentication)	チェックを付けると、クライアントの認証を有効にします。
Text Based Access (Text Based Access)	Telnet の設定をします。
Telnet の有効 (Enable Telnet)	チェックを付けると、Telnet サービスを有効にします。
ポート (Port)	Telnet のポート番号を指定します。
SSH の有効 (Enable SSH)	チェックを付けると、SSH を有効にします。
SSH ポート (SSH Port)	SSH のポート番号を指定します。
セッションタイムアウト (Session Timeout)	セッションのタイムアウト時間を設定します。
Session Timeout For Web Based And Text Based Access(30~65535)	休止状態の接続が自動的に切れるまでの時間(秒)を設定します。設定できる範囲は 30~65535 秒です。 この機能を無効にする場合は、0 を設定してください。

注 1: Service LAN ポートと Management LAN ポートには異なるセグメントの IP アドレスを設定してください。
ネットワークに接続するときは、それぞれ異なるネットワークに接続してください。

注 2: ゲートウェイは Service LAN ポートと Management LAN ポートのどちらか片方のみ設定してください。2 つのゲートウェイを設定すると不具合が発生する場合があります

VLAN(VLAN)タブ

VLAN(VLAN)/VLAN の設定をします。最大 10 の VLAN グループ設定できます。本機能は未サポートです。

VLANグループ情報				
グループ名	有効	Group ID	VLAN IPアドレス	VLANネットワークマスク
<input checked="" type="radio"/> VLANグループ 1	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 2	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 3	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 4	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 5	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 6	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 7	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 8	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 9	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0
<input type="radio"/> VLANグループ 10	<input type="checkbox"/>	0	0.0.0.0	255.255.255.0

VLANグループの設定	
Enable Group:	<input type="checkbox"/>
グループ名:	VLANグループ 1
Group ID (2-4094):	0
VLAN IPアドレス:	0.0.0.0
VLANネットワークマスク:	255 . 255 . 255 . 0
<input type="button" value="適用"/>	

項目	説明
VLAN グループ情報 (VLAN Group Information)	全 VLAN グループの設定を表示します。
VLAN グループの設定 (VLAN Group Setting)	VLAN グループの設定をします。
有効(Enable Group)	VLAN グループの有効/無効を設定します。
グループ名(Group Name)	「VLAN グループ情報(VLAN Group Information)」で選択した VLAN グループ名を表示します。
Group ID(Group ID)	異なる VLAN グループを設定します。設定できる範囲は 2~4094 です。
VLAN IP アドレス (VLAN IP Address)	VLAN の IP アドレスを設定します。
VLAN ネットワークマスク (VLAN Network Mask)	VLAN のネットワークマスクを設定します。

IPフィルタリング(IP Filter)タブ

IP フィルタリングの設定をします。

許可するプロトコルの設定(Protocols Permitted Globally)

接続を許可するプロトコルを設定します。許可するプロトコルにチェックを付けて「適用(Apply)」をクリックすると、設定が反映されます。

許可するプロトコルの設定			
<input checked="" type="checkbox"/> HTTP/HTTPS	<input checked="" type="checkbox"/> SSH	<input checked="" type="checkbox"/> SNMP	<input checked="" type="checkbox"/> Telnet
本設定を適用するとフィルタリング設定が削除されます。			
<input type="button" value="適用"/>			

IPフィルタリングの設定表示(IP Filter List)

IP フィルタリングの設定を表示します。

IPフィルタリングの設定表示		
選択	プロトコル	IPアドレス/サブネットマスク
選択した設定を削除します。: <input type="button" value="削除"/>		

項目	説明
選択(Select)	チェックを付けて「削除(Delete)」をクリックすると、設定を削除します。
プロトコル(Protocol)	プロトコルを表示します。
IP アドレス/サブネットマスク (Permitted IP Address/Subnet)	IP アドレス/サブネットマスクを表示します。

新しい IP フィルタリング (New IP Filter)

新しい IP フィルタリングの設定をします。「適用 (Apply)」をクリックすると、設定が反映されます。

新しい IP フィルタリング	
許可するプロトコル:	HTTP/HTTPS ▼
許可する IP アドレス/サブネットマスク:	<input type="text"/>
<input type="button" value="適用"/>	

項目	説明
許可するプロトコル (Permitted protocol)	許可するプロトコルを設定します。 「HTTP/HTTPS」「SSH」「SNMP」「Telnet」から選択します。
許可する IP アドレス/サブネットマスク (Allowed IP Address/Subnet)	許可する IP アドレス/サブネットマスクを設定します。

訂正 「3.3.4 設定 (Settings)」 (関連ページ: 108)

「■ SNMP (SNMP)」の前に以下の記述が追加になります。

■ AuDi-MIP (AuDi-MIP)

マネジメントブレード、リモートマネジメントコントローラおよびコネクションブレードの IP アドレスの自動割当を設定します。

● SNMP 設定 (BASIC) タブ

Basic configuration を設定します。「適用 (Apply)」をクリックすると設定を反映します。

Basic Configuration	
<input checked="" type="checkbox"/> Enable AuDi-MIP: <input type="checkbox"/>	
AuDi-MIP Configuration <input checked="" type="radio"/> All <input type="radio"/> Detailed	
IP Address Range:	0 . 0 . 0 . 0 - 0 . 0 . 0 . 0
サブネットマスク:	0 . 0 . 0 . 0
ゲートウェイ:	0 . 0 . 0 . 0
AuDi-MIP iRMC Configuration IP Address Range: 0 . 0 . 0 . 0 - 0 . 0 . 0 . 0 Included Management Blade: <input checked="" type="checkbox"/>	
AuDi-MIP Connection Blade Management Controllers Configuration IP Address Range: 0 . 0 . 0 . 0 - 0 . 0 . 0 . 0 Included Management Blade: <input type="checkbox"/>	
DNS の設定 DNS Domain: <input type="text"/> DNS Server 1: 0 . 0 . 0 . 0 DNS Server 2: 0 . 0 . 0 . 0 DNS Server 3: 0 . 0 . 0 . 0	
NTP サーバ NTP Server 1: 0 . 0 . 0 . 0 NTP Server 2: 0 . 0 . 0 . 0	
<input type="button" value="適用"/>	

項目	説明
Enable AuDi-MIP	チェックをつけると、IP アドレスの自動割り当てができます。
AuDi-MIP Configuration	AuDi-MIP 設定 <ul style="list-style-type: none"> • All: マネジメントブレード (マスター)、リモートマネジメントコントローラ、コネクションブレードを 1 つの IP アドレス範囲に含めます。 • Detailed: サーバブレード、コネクションブレードに別々の IP アドレス範囲を指定できます。
IP Address Range	IP アドレス範囲を設定します。最初のアドレスとアドレス範囲の最後のアドレスを設定します。
サブネットマスク (subnet mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ (gateway address)	ゲートウェイを設定します。

項目	説明
AuDi-MIP iRMC Configuration	「AuDi-MIP Configuration」で Detailed を選択した場合に設定できます
IP Address Range	IP アドレス範囲を設定します。最初のアドレスとアドレス範囲の最後のアドレスを設定します。
Included Management Blade [注 1]	チェックを付けると IP アドレス範囲にマネジメントブレードを含めます。
AuDi-MIP Connection Blade Management Controllers Configuration	「AuDi-MIP Configuration」で Detailed を選択した場合に設定できます。
IP Address Range	IP アドレス範囲を設定します。最初のアドレスとアドレス範囲の最後のアドレスを設定します。
Included Management Blade [注 2]	チェックを付けると IP アドレス範囲にマネジメントブレードを含めます。
DNS の設定	DNS の設定をします。
DNS Domain	DNS ドメイン名または ID を設定します。
DNS Server 1	DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 2	
DNS Server 3	
NTP サーバの設定	NTP サーバの設定をします。
NTP Server 1	NTP サーバの IP アドレスを設定します。
NTP Server 2	

注 1: 「AuDi-MIP Connection Blade Management Controllers Configuration」の「Included Management Blade」にチェックが付いている場合は設定できません。

注 2: 「AuDi-MIP iRMC Configuration」の「Included Management Blade」にチェックが付いている場合は設定できません。

● Advanced タブ

サーバブレード、コネクションブレード、マネジメントブレードに個々に IP アドレスを設定します。「適用 (Apply)」をクリックすると設定を反映します。

Advanced Configuration

Enable AuDi-MIP:

Include	ブレード名	AuDi-MIP Address	AuDi-MIP Subnet Mask	AuDi-MIP Gateway	Current IP Address
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-1	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-2	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-3	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-4	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-5	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-6	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-7	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-8	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-9	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-10	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-11	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-12	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-13	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	192.168.1.103
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-14	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	192.168.1.104
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-15	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	192.168.1.118
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-16	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	192.168.1.110
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-17	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	
<input type="checkbox"/>	サーバブレード-18	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0	

Connection Blade Management Controller					
Include	ブレード名	AuDi-MIP Address	AuDi-MIP Subnet Mask	AuDi-MIP Gateway	Current IP Address
<input type="checkbox"/>	コネクショ ンブレード- 1	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	192.168.1.200
<input type="checkbox"/>	コネクショ ンブレード- 2	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	192.168.1.224
<input type="checkbox"/>	コネクショ ンブレード- 3	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	コネクショ ンブレード- 4	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	
<input type="checkbox"/>	コネクショ ンブレード- 5	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	コネクショ ンブレード- 6	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	コネクショ ンブレード- 7	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0.0.0.0
<input type="checkbox"/>	コネクショ ンブレード- 8	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0.0.0.0

Include all

Management Blade					
Include	ブレード名	AuDi-MIP Address	AuDi-MIP Subnet Mask	AuDi-MIP Gateway	Current IP Address
<input type="checkbox"/>	マナジメ ントブレード	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	0 . 0 . 0 . 0	10.21.78.120

Include all

表示の更新 Default 適用

項目	説明
Enable AuDi-MIP	チェックをつけると、IP アドレスの自動割り当てができます。
iRMC	サーバブレードを選択して、IP アドレスを入力してください。
Connection Blade Management Controller	コネクショ ンブレードを選択して、IP アドレスを設定します。
マネジメントブレード (Management Blade)	マネジメントブレードを選択して、IP アドレスを設定します。

訂正 「3.3.4 設定 (Settings)」(関連ページ:110)

太字下線部が削除箇所です。

誤)

- **SNMP V3 設定 (SNMP V3) タブ**
SNMPv3 サービスの設定をします。
本マネジメントブレードでは SNMP V3 のトラップ機能は未サポートです。使用しないでください。

正)

- **SNMP V3 設定 (SNMP V3) タブ**
SNMPv3 サービスの設定をします。

訂正 「3.3.3 情報/操作 (Information/Operation)」(関連ページ:112)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

イベントログフィルタリング (Event Log Filter)

項目	説明
スイッチブレード (Connection Blade)	コネクショ ンブレードに関するイベントを記録します。

正)

イベントログフィルタリング (Event Log Filter)

項目	説明
コネクショ ンブレード (Connection Blade)	コネクショ ンブレードに関するイベントを記録します。

訂正 「3.3.3 情報／操作 (Information/Operation)」(関連ページ: 119)

「● ネットワーク設定 (Network Settings)」について、以下の記述に読み替えてください。

● ネットワーク設定 (Network Settings)

マネジメントブレードのネットワークの設定をします。

IPv4 (IPv4)

Management LAN (Standalone)

Enable Address Setting: For Component Groups For Individual Components ?

Enable Common Addressing Mode For All Components:

Common Addressing Mode:

Obtain DNS Configuration From DHCP:

DNSサーバ 1:

DNSサーバ 2:

項目	説明
Enable Address Setting	アドレス設定を選択します。 ・for Component Groups: コンポーネントグループ ・for Individual Components: 個々のコンポーネント 「For Individual Components」を選択してアドレス設定する場合は、各々のコンポーネントの IP アドレス設定ページで設定する必要があります。基本設定ウィザードでは、「For Component Groups」のみアドレス設定をサポートします。
Enable Common Addressing Mode For All Components	全コンポーネントにアドレス指定モードを有効にします。
Common Addressing Mode	アドレス指定モードを選択します。 ・External DHCP: 外部 DHCP ・static addressing: 固定アドレス指定
DNS 設定を DHCP から取得 (Obtain DNS Configuration from DHCP)	チェックを付けると、DHCP から DNS の情報を取得します。チェックを付けた場合は、「DNS サーバ 1」および「DNS サーバ 2」の設定は不要です。
DNS サーバ 1 (DNS Server 1)	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS サーバ 2 (DNS Server 2)	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

IPv6

Management LAN

IPv6の有効:

Link Local IP Address: fe80::223:8bff:fece:446a

DHCPv6有効:

Global IP Address:

DNS設定をDHCPから取得:

DNSサーバ 1:

DNSサーバ 2:

項目	説明
IPv6 の有効	チェックを付けると、IPv6 設定を有効にします。
Link Local IP Address	リンクローカルアドレスを表示します。
DHCPv6 有効(Enable DHCPv6)	DHCP サーバを使用して設定を行う場合、チェックを付けます
Global IP Address	グローバル IP アドレスを設定します。
DNS 設定を DHCP から取得 (Obtain DNS Configuration from DHCP)	チェックを付けると、DHCP から DNS の情報を取得します。チェックを付けた場合は、「DNS サーバ 1」および「DNS サーバ 2」の設定は不要です。
DNS サーバ 1(DNS Server 1)	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS サーバ 2(DNS Server 2)	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

AuDi-MIP

AuDi-MIP

Enable AuDi-MIP:

IP Address Range: 0 . 0 . 0 . 0 - 0 . 0 . 0 . 0

サブネットマスク: 0 . 0 . 0 . 0

ゲートウェイ: 0 . 0 . 0 . 0

DNS Domain:

DNS Server 1: 0 . 0 . 0 . 0

DNS Server 2: 0 . 0 . 0 . 0

DNS Server 3: 0 . 0 . 0 . 0

NTP Server 1: 0 . 0 . 0 . 0

NTP Server 2: 0 . 0 . 0 . 0

項目	説明
Enable AuDi-MIP	チェックをつけると、IP アドレスの自動割り当てができます。
IP Address Range	IP アドレス範囲を設定します。最初のアドレスとアドレス範囲の最後のアドレスを設定します。
サブネットマスク(subnet mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ(gateway address)	ゲートウェイを設定します
DNS Domain	DNS ドメイン名または ID を設定します。
DNS Server 1	DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS Server 2	
DNS Server 3	
NTP Server 1	NTP サーバの IP アドレスを設定します。
NTP Server 2	

訂正 「3.3.3 情報／操作(Information/Operation)」(関連ページ:120)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● 電源管理設定(Power Settings)

電源ユニット管理の設定:

電源ユニットの数: 3

正常な電源ユニット: 3

ダイナミックモード:

電源ユニットの冗長構成: No Redundancy ▼

表示単位: [Watt] ▼

項目	説明
電源ユニット管理の設定 (Enable PSU Control)	チェックを付けると、電源ユニットの制御に関する設定を有効にします。
電源ユニットの数 (Number of PSUs)	電源ユニットの搭載台数を表示します。
正常な電源ユニット (Available PSUs)	正常に動作する電源ユニットの台数を表示します。
ダイナミックモード (Enable PSU Dynamic Mode)	チェックを付けると、電源ユニットのダイナミックモード(電源供給量に応じて電源ユニットの使用を制御する)を有効にします。
電源ユニットの冗長構成 (Redundancy)	電源ユニットの冗長構成を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •No Redundancy:冗長構成を使用しません。 •A+B:通常は A 台を使用して、B 台は予備電源として故障などが発生した場合に切り替えます。 設定可能な組み合わせは「3+3」「2+2」「2+1」「3+1」「4+1」「5+1」です。
表示単位 (Display Unit)	表示する単位を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •Watt •BTU/h

正)

● 電源管理設定 (Power Settings)

電源ユニット管理の設定:

電源ユニットの数: 3
正常な電源ユニット: 3

電源のダイナミックモード: 無効 デフォルト 拡張

電源ユニットの冗長構成: No Redundancy

表示単位: Watt

注(1): 電源ユニットがダイナミックモードで冗長構成がNO Redundancyの場合、アクティブな電源ユニットのうち最後のユニットが十分な電力を供給できないとき直ちにブレードシステムの電源が切断されます。

前へ 次へ 終了 キャンセル

項目	説明
電源ユニット管理の設定 (Enable PSU Control)	チェックを付けると、電源ユニットの制御に関する設定を有効にします。
電源ユニットの数 (Number of PSUs)	電源ユニットの搭載台数を表示します。
正常な電源ユニット (Available PSUs)	正常に動作する電源ユニットの台数を表示します。
ダイナミックモード (Enable PSU Dynamic Mode)	電源ユニットのダイナミックモードの設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> •無効(Disable): 電源ユニットのダイナミックモードを無効にします。 •デフォルト(Standard): 電源ユニットのダイナミックモード(電源供給量に応じて電源ユニットの使用を制御する)を有効にします。 •拡張(Enhanced): 電源ユニットの稼働数を「デフォルト」モードより減らすことでさらに電力効率を高めることができます。本機能は未サポートです。本モードは選択しないでください。
電源ユニットの冗長構成 (Redundancy)	電源ユニットの冗長構成を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •No Redundancy:冗長構成を使用しません。 •A+B:通常は A 台を使用して、B 台は予備電源として故障などが発生した場合に切り替えます。 設定可能な組み合わせは「3+3」「2+2」「2+1」「3+1」「4+1」「5+1」です。
表示単位 (Display Unit)	表示する単位を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •Watt •BTU/h

訂正 「4.1.3 CLI の概要」(関連ページ:126)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

CLI の主なメニューについては、次の表をご覧ください。

項目	説明
「Management Agent」(→ P.129)	ブレードシステムの情報表示や設定をします。
「LDAP Authentication (1_14)」 (→ P.217)	ディレクトリサービスの設定と情報表示をします。
「I2C Bus Management(1_16)」 (→ P.219)	I2C バスの設定をします。

正)

CLI の主なメニューについては、次の表をご覧ください。

項目	説明
「Management Agent」(→ P.129)	ブレードシステムの情報表示や設定をします。
「LDAP Authentication (1_14)」 (→ P.217)	ディレクトリサービスの設定と情報表示をします。
「VLAN Information (1_15)」	VLAN を設定します。本機能は未サポートです。
「I2C Bus Management(1_16)」 (→ P.219)	I2C バスの設定をします。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:130)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

項目	説明
15. VLAN Information	未サポートです。使用しないでください。

正)

項目	説明
15. VLAN Information	VLAN を設定します。本機能は未サポートです。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:133)

● Set Service Lan Configuration(1_1_1)

以下の項目が追加になります。

項目	説明
4. Set Service LAN IPv6 Configure	マネジメントブレードの Service LAN ポートの IPv6 アドレスを設定します。 ・Service LAN IPv6 Link-Local Address:リンクローカルアドレスを表示します。 ・Service LAN IPv6 Global Address(Static):静的グローバル IP アドレスを設定します。 ・Service LAN IPv6 Global Address(Stateless):ステートレス IP アドレスを表示します。 ・Service LAN IPv6 Global Address(Stateful):ステートフル IP アドレスを表示します。 ・Service LAN DHCPv6 Configure: DHCPv6 の設定をします。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:134)

● **Set Management Lan Configuration (1_1_2)**

以下の項目が追加になります。

項目	説明
5. Set Management LAN IPv6 Configure	マネジメントブレードの Management LAN ポートの IPv6 アドレスを設定します。 ・Management LAN IPv6 Link-Local Address: リンクローカルアドレスを表示します。 ・Management LAN IPv6 Global Address(Static): 静的グローバル IP アドレスを設定します。 ・Management LAN IPv6 Global Address(Stateless): ステートレス IP アドレスを表示します。 ・Management LAN IPv6 Global Address(Stateful): ステートフル IP アドレスを表示します。 ・Management LAN DHCPv6 Configure: DHCPv6 の設定をします。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:136)

● **Agent HTTP(1_1_8)**

以下の項目が追加になります。

項目	説明
8. HTTP IPv6 Filter Table	HTTP による接続を許可する IPv6 アドレスの設定をします。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:138)

「● Agent SNMP(1_1_9)」の前に以下の記述が追加になります。

● **HTTP IPv6 Filter Table (1_1_8_8)**

HTTP による接続を許可する IPv6 アドレスの設定をします。

HTTP 接続を許可する IPv6 アドレスを最大 10 個まで登録できます。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:138)

● **Agent SNMP (1_1_9)**

以下の項目が追加になります。

項目	説明
7. SNMP IPv6 Filter Table	SNMP による接続を許可する IPv6 アドレスを設定します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:140)

太字下線部が削除箇所です。

誤)

● **SNMP v3 Setting (1_1_9_5)**

SNMP v3 の設定をします。

本マネジメントブレードでは SNMP V3 のトラップ機能は未サポートです。使用しないでください。

正)

● **SNMP v3 Setting (1_1_9_5)**

SNMP v3 の設定をします。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:141)

太字下線部が削除箇所です。

誤)

● **SNMP v3 Trap Setting(1_1_9_5_2)**

SNMP v3トラップの送信先の設定と表示をします。

本マネジメントブレードでは SNMP V3 のトラップ機能は未サポートです。使用しないでください。

正)

● **SNMP v3 Trap Setting(1_1_9_5_2)**

SNMP v3トラップの送信先の設定と表示をします。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:143)

「● Agent TELNET(1_1_10)」の前に以下の記述が追加になります。

● **SNMP IPv6 Filter Table(1_1_9_7)**

SNMP による接続を許可する IPv6 アドレスを設定します。
SNMP を許可する IPv6 アドレスを最大 10 個まで登録できます。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:143)

● **Agent TELNET(1_1_10)**

以下の項目が追加になります。

項目	説明
5. Telnet IPv6 Filter Table	IPv6 で Telnet サービスを許可する IP アドレスを設定します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:145)

「● Agent Network DNS(1_1_11)」の前に以下の記述が追加になります。

● **Telnet IPv6 Filter Table(1_1_10_5)**

IPv6 で Telnet サービスを許可する IP アドレスの設定をします。
Telnet を許可する IP アドレスを最大 10 個まで登録できます。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:145)

● **Agent Network DNS(1_1_11)**

以下の項目が追加になります。

項目	説明
4. Set DNSv6 Configuration	マネジメントブレードの DNSv6 を設定します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:146)

「● Agent SSH(1_1_13)」の前に以下の記述が追加になります。

● **Set DNSv6 Server Information(1_1_11_4)**

```
+-----+
| Set DNSv6 Server Information                page_1_1_11_4 |
+-----+
(1) Obtain DNSv6 configuration from DHCP : enable
(2) Set DNS IPv6 Address_1                :
(3) Set DNS IPv6 Address_2                :
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	説明
1. Obtain DNSv6 configuration from DHCP	「enable」に設定すると、DHCP サーバから DNS の情報を取得します。その場合は、「Set DNS IPv6 Address_1」および「Set DNS IPv6 Address_2」の設定は不要です。
2. Set DNS IPv6 Address_1	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
3. Set DNS IPv6 Address_2	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:146)

● **Agent SSH(1_1_13)**

以下の項目が追加になります。

項目	説明
4.SSH IPv6 Filter Table	SSH サービスを許可する IPv6 アドレスを設定します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:148)

「● Agent NTP(1_1_14)」の前に以下の記述が追加になります。

● SSH IPv6 Filter Table(1_1_13_4)

SSH サービスを許可する IPv6 アドレスの設定をします。
SSH を許可する IPv6 アドレスを、最大 10 個まで登録できます。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:148)

● Agent NTP(1_1_14)

以下の項目が追加になります。

項目	説明
5. NTP Server IPv6	NTP サーバの IPv6 アドレスを入力します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:149)

「● Agent NTP(1_1_14)」の後ろに以下の記述が追加になります。

● NTP Server IP(1_1_14_5)

```
+-----+
|      NTP Server IP                               page_1_1_14_5      |
+-----+
(1) NTP Server IPv6 1 :
(2) NTP Server IPv6 2 :
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	説明
1. NTP Server IPv6 1	プライマリ NTP サーバの IP アドレスを入力します。
2. NTP Server IPv6 2	セカンダリ NTP サーバの IP アドレスを入力します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:153)

■System Information(1_3)

以下の項目が追加になります。

項目	説明
11. Scheduled Power-On/Off Time	システムの運転スケジュールを設定します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:156)

● System Power Supply(1_3_2)

以下の項目が追加になります。

項目	説明
9. Power Off System After Last Server Blade Stopped	全サーバブレード停止後にシステム電源切断を設定します。 ・disable: 設定しない ・enable: 設定する

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:166)

「■ Server Blade(1_4)」の前に下記の記述が追加になります。

● **Scheduled Power-On/Off Time(1_3_11)**

```

+-----+
| Scheduled Power-On/Off Time                               page_1_3_11 |
+-----+
(1) Power On/Off Policy
(2) Server Blade Power Option
(3) Participating Server Bays
(4) Power On/Off Time
(5) Power On Sequence
(6) Power Off Sequence
(7) Delay Time Between Two Server Blades : 0
(8) Server Power Off Action : Graceful Shutdown and Power Off
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	説明
1. Power On/Off Policy	サーバブレードの電源起動・切断の順序を設定します。
2. Server Blade Power Option	電源のリストアポリシーを設定します <ul style="list-style-type: none"> •Always power off: 常に OFF •Always power on: 常に ON •Restore to power state prior to power loss: 電源が切れた時の設定と同じ動作をします。
3. Participating Server Bays	スケジュール運転をするサーバブレードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •disable: 設定しません。 •Enable: 設定します。
4. Power On/Off Time	電源投入・電源切断時刻を設定します。
5. Power On Sequence	電源投入順序を設定します。スロット番号 1~18 の数値を入力します。
6. Power Off Sequence	電源切断順序を設定します。スロット番号 1~18 の数値を入力します。
7. Delay Time Between Two Server Blades	サーバブレード電源投入から次のサーバブレード電源投入までの時間を設定します。設定できる範囲は 0~10 分です。
8. Server Power Off Action	サーバブレードの電源切断動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •Graceful Shutdown and Power Off: サーバブレードで動作する ServerView エージェントが、OS のシャットダウンをして電源を切ります。 •Hard Power Off: サーバブレードの電源を強制的に切ります。

● **Power On/Off Policy(1_3_11_1)**

```

+-----+
| Power On/Off Policy                                       page_1_3_11_1 |
+-----+
(1) Enable Scheduled Power-On/Off Time                     : disable
(2) Server Blade Power On Delay After System Power-On    : 0
Enter selection or type (0) to quit:

```

項目	説明
1. Enable Sequence Power-On/Off Time	設定した電源投入/切断時刻を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> •disable: 無効にします •enable: 有効にします
2. Server Blade Power-On Delay After System Unit Power-On (0-60)	システムユニットの電源投入後、サーバブレードの電源投入までの待ち時間を設定します。設定できる範囲は 0~60 分です。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:171)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● iRMC Address Configuration(1_4_1_1_12)

項目	説明
10. Set VLAN ID	未サポートです。使用しないでください。

正)

● iRMC Address Configuration(1_4_1_1_12)

項目	説明
10. Set VLAN ID	VLAN IDを設定します。設定できる範囲は2~4094です。 本機能は未サポートです。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:186)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● Server Blade Boot Watchdog(1_4_1_8_2)

項目	説明
4. Set Boot Watchdog Retry Counter Max	残り回数が「0」になったときに、 「リトライカウンタが0になった場合の動作 (Action with Retry Counter 0)」 で設定した動作が実行されます。

正)

● Server Blade Boot Watchdog(1_4_1_8_2)

項目	説明
4. Set Boot Watchdog Retry Counter Max	残り回数が「0」になったときに、 「3.Set Boot Watchdog Action」 で設定した動作が実行されます。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:189)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

■ Connection Blade(1_6)

項目	説明
GBE Connection Blade-N または FC Connection Blade-N (N はスロット番号)	選択したコネクシオンブレードの詳細な情報の表示と設定をします。 選択すると、「Connection Blade」メニューが表示されます。 「Connection Blade(1_6_1)」(→ P.190)

正)

■ Connection Blade(1_6)

項目	説明
GbE Connection Blade-N, 8Gb FC Connection Blade-N, 8Gb FC Pass-Thru Connection Blade-N , 40Gb IB Connection Blade-N または 10GbE Connection Blade-N (N はスロット番号)	選択したコネクシオンブレードの詳細な情報の表示と設定をします。 選択すると、「Connection Blade」メニューが表示されます。 「Connection Blade(1_6_1)」(→ P.190)

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:190)

太字下線部が追記・訂正箇所です。

誤)

● Connection Blade Information(1_6_1)

項目	説明
1. Information	コネクシオンブレードの情報表示と設定をします。 「Connection Blade Information(1_6_1_1)」(→ P.191)
2. Management Port Information	コネクシオンブレードのネットワークの設定と情報表示をします。 「Management Port Information(1_6_1_2)」(→ P.192)
3. Username/Password	コネクシオンブレードの管理者用ユーザーID とパスワードを設定します。 「Username/Password(1_6_1_3)」(→ P.193)

項目	説明
4. Ethernet Management Port Control (ファイバーチャネルスイッチブレードのみ表示)	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 LAN ポートを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •Internal Port: マネジメントブレードの Management LAN ポートを経由して、ファイバーチャネルスイッチブレードの管理画面にアクセスします。 •External Port: ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 LAN ポートから、ファイバーチャネルスイッチブレードの管理画面にアクセスします。

正)

● **Connection Blade Information (1_6_1)**

項目	説明
1. Information	コネクシオンブレードの情報表示と設定をします。 「Connection Blade Information (1_6_1_1)」(→ P.191)
2. Management Port Information [注]	コネクシオンブレードのネットワークの設定と情報表示をします。 「Management Port Information (1_6_1_2)」(→ P.192)
3. Username/Password [注]	コネクシオンブレードの管理者用ユーザーID とパスワードを設定します。 「Username/Password (1_6_1_3)」(→ P.193)
4. Ethernet Management Port Control (ファイバーチャネルスイッチブレードのみ表示)	ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 LAN ポートを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> •Internal Port: マネジメントブレードの Management LAN ポートを経由して、ファイバーチャネルスイッチブレードの管理画面にアクセスします。 •External Port: ファイバーチャネルスイッチブレードの管理用 LAN ポートから、ファイバーチャネルスイッチブレードの管理画面にアクセスします。

注: 8Gb FC パススルーコネクシオンブレードでは表示されません。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ: 191)

太字下線部が追記・訂正箇所です。

誤)

● **Connection Blade Information (1_6_1_1)**

項目	説明
Administrative URL	管理用 URL を表示します。 IB 以外の場合に表示されます。
Connection Blade Mode	動作モードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> •IBP: IBP モードで動作中 •SWITCH: スイッチモードで動作中 IB 以外の場合に表示されます。
15. Reset Interface Settings	コネクシオンブレードの以下の設定をリセットします。 <ul style="list-style-type: none"> •User Assigned Name •DHCP OOB Settings •Internal Stacking Link •Management Port Select(only Brocade BR5450) •Polling Settings (6) Set To Default Now: リセットを実行します。 IB 以外の場合に表示されます。

正)

● **Connection Blade Information (1_6_1_1)**

項目	説明
Administrative URL	管理用 URL を表示します。 IB 以外の場合に表示されます。
Connection Blade Mode	動作モードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> •IBP: IBP モードで動作中 •SWITCH: スイッチモードで動作中 IB 以外の場合に表示されます。
Stacking Status	動作モードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> •Master モードで動作中 スイッチブレード(1Gbps 36/8+2)の場合に表示されます。
16. Inter-Switch Link Setting (LAN スイッチブレード(1Gbps 36/8+2)にのみ表示)	CB3,4 CB5,6 または CB7,8 の内部スタック接続の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> •disable: 無効にします •enable: 有効にします。

項目	説明
17. Reset Interface Settings	コネクションブレードの以下の設定をリセットします。 ・User Assigned Name ・DHCP OOB Settings ・Internal Stacking Link ・Management Port Select(only Brocade BR5450) ・Polling Settings ・ Firmware Mode 7. Set To Default Now:リセットを実行します。 IB 以外の場合に表示されます。 搭載するコネクションブレードの種類によって表示する項番が異なります。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:204)

太字下線部が追記箇所です。

誤)

■ Server Blade CMOS Backup/Restore(1_11)

重要

- ▶ 次のいずれかの場合、必ず BIOS 設定情報のバックアップをしてください。
 - ・サーバブレードを初めて使用する場合
 - ・BIOS セットアップユーティリティで情報を変更した場合
 - ・サーバブレードのメモリの増減や変更などハードウェア構成を変更した場合
 - ・BIOS 版数を更新した場合
- ▶ BIOS セットアップユーティリティによって設定される情報のみをバックアップしたり復元したりできます。オンボード SAS コントローラの BIOS 設定情報はバックアップや復元ができません。
- ▶ バックアップ、復元の結果はマネジメントブレードのイベントログに記録されます。

正)

■ Server Blade CMOS Backup/Restore(1_11)

重要

- ▶ 次のいずれかの場合、必ず BIOS 設定情報のバックアップをしてください。
 - ・サーバブレードを初めて使用する場合
 - ・BIOS セットアップユーティリティで情報を変更した場合
 - ・サーバブレードのメモリの増減や変更などハードウェア構成を変更した場合
 - ・BIOS 版数を更新した場合
- ▶ BIOS セットアップユーティリティによって設定される情報のみをバックアップしたり復元したりできます。オンボード SAS コントローラの BIOS 設定情報はバックアップや復元ができません。
- ▶ バックアップ、復元の結果はマネジメントブレードのイベントログに記録されます。
- ▶ **BX960 S1 サーバブレードでは、本機能は未サポートです。**

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:209)

● Set Management Lan Configuration (1_1_2)

以下の項目が削除になります。

項目	説明
5. Power Control Threshold Definition	消費電力のしきい値を設定します。 ・Relative: 使用している電力から相対的にしきい値を設定します。 ・Absolute: 任意のしきい値を設定します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:211)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● PSU Control Setting(1_13_13_2)

項目	説明
3. Power Control Dynamic Mode	「enable」に設定すると、電源ユニットのダイナミックモード(電源供給量に応じて電源ユニットの使用を制御する)を有効にします。

正)

● **PSU Control Setting(1_13_13_2)**

項目	説明
3. Power Control Dynamic Mode	<p>電源ユニットのダイナミックモードの設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • disable: 電源ユニットのダイナミックモードを無効にします。 • Standard: 電源ユニットのダイナミックモード(電源供給量に応じて電源ユニットの使用を制御する)を有効にします。 • Enhanced: 電源ユニットの稼働数を「デフォルト」モードより減らすことでさらに電力効率を高めることができます。 <p>本機能は未サポートです。本モードは選択しないでください。</p>

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:213)

太字下線部が追記・訂正箇所です。

誤)

● **Power Consumption Limit Setting (1_13_13_9)**

項目	説明
5. Server Blade Action After Over Limit	<p>「Grace Period」で設定した猶予期間を超えても消費電力がしきい値を上回っている場合の処理を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • continue: ブレードシステムの稼働を継続します。 • graceful shutdown: サーバブレードに対して OS を終了してサーバブレードの電源を切るように指示してからシャーシの電源を切ります。 • hard power off: サーバブレードの電源を切らずにシャーシの電源を切ります。

正)

● **Power Consumption Limit Setting (1_13_13_8)**

項目	説明
5. Server Blade Action After Over Limit	<p>「Grace Period」で設定した猶予期間を超えても消費電力がしきい値を上回っている場合の処理を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • continue: ブレードシステムの稼働を継続します。 • graceful shutdown: サーバブレードに対して OS を終了してサーバブレードの電源を切るように指示してからシャーシの電源を切ります。 • hard power off: サーバブレードの電源を切らずにシャーシの電源を切ります。
<u>6. Power Control Threshold Definition</u>	<p>しきい値の表示方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Reactive: 使用している電力から相対的にしきい値を表示します。 • Absolute: しきい値の絶対値を表示します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:214)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● **Power Consumption Scheduled Setting (1_13_13_10)**

正)

● **Power Consumption Scheduled Setting (1_13_13_9)**

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:215)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

● **Scheduled Consumption Configuration (1_13_13_10_1)**

正)

● **Scheduled Consumption Configuration (1_13_13_9_1)**

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:216)

太字下線部が訂正箇所です。

誤)

- **Scheduled Consumption Configuration for Everyday (1_13_13_11)**

正)

- **Scheduled Consumption Configuration for Everyday (1_13_13_10)**

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:217)

■ **LDAP Authentication (1_14)**

以下の項目が追加になります。

項目	説明
13. LDAP Server IPv6 1	ディレクトリサービスに使用するサーバの IPv6 アドレスを設定します。
14. LDAP Server IPv6 2	ディレクトリサービスに使用するサーバの IPv6 アドレスを設定します。

訂正 「4.2.2 Management Agent」(関連ページ:219)

「■ I2C Bus Management(1_16)」の前に以下の記述が追加になりますが、本機能は未サポートです。

■ **VLAN Information(1_15)**

最大 10 個の VLAN グループの設定を行います。本機能は未サポートです。

- **VLAN Group Information(1_15_1)**

```
+-----+
|   VLAN Group Information           page_1_15_1   |
+-----+
(1) VLAN Group ID: n
(2) VLAN IP: n.n.n.n
(3) VLAN Network Mask: n.n.n.n
(4) VLAN Enable: disable
(5) VLAN IPv6:
Enter selection or type (0) to quit:
```

項目	説明
1. VLAN Group ID	VLAN グループを設定します。設定できる範囲は 2~4096 です。
2. VLAN IP	VLAN の IP アドレスを設定します。
3. VLAN Network Mask	VLAN IPv4 ネットワークマスクを設定します。
4. VLAN Enable	VLAN グループの有効/無効を設定します。
5. VLAN IPv6	VLAN の IPv6 アドレスを設定します。

訂正 「A.1 システムユニット設定 (System Unit Settings)」(関連ページ: 240)

設定項目メニューで表示される内容について、以下の記述に読み替えてください。

項目	説明
識別情報 (Identification)	ブレードシステムの名称を設定します。 項目を指定し、「Apply」を指定すると設定が反映されます。 設定の反映をキャンセルする場合は、「←」を押してください。
システム名 (System Name)	システムの名称を設定します。
ラック名 (Rack Name)	ラックの名称を設定します。
管理者 (System Contact)	システム管理者の連絡先を指定します。
システム設置場所 (System Location)	設置場所を指定します。
暗証番号 (PIN)	LCD パネルを使用するための暗証番号を設定します。 項目を指定し、「OK」を押すと設定が有効になります。
暗証番号の有効 (PIN Enable)	チェックを付けると LCD パネル使用時に暗証番号の入力が必要になります。
暗証番号 (PIN)	暗証番号を設定します。

項目	説明
ネットワーク IPv4 (Network IPv4)	マネジメントブレードの Management LAN ポートの設定をします。 項目を指定し、「適用 (Apply)」を指定すると設定が反映されます。
DHCP の有効 (Enable DHCP)	チェックを付けると DHCP を使用して Management LAN ポートの設定をします。DHCP を使用する場合、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」の設定は必要ありません。
IP アドレス (IP Address)	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク (Subnet Mask)	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ (Gateway)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
DNS サーバ設定 (DNS Server Settings)	DNS サーバを指定します。「適用 (Apply)」を指定すると設定が反映されます。
DNS 設定を DHCP から取得 (Obtain DNS configuration from DHCP)	チェックを付けると、DHCP サーバから DNS の情報を取得します。チェックを付けた場合は、「DNS サーバ 1」「DNS サーバ 2」の設定は不要です。
DNS サーバ 1 (DNS Server 1)	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS サーバ 2 (DNS Server 2)	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
ネットワーク IPv6 (Network IPv6)	マネジメントブレードの Management Port LAN ポートの設定をします。
Enable IPv6	IPv6 を有効にします。
Obtain IP Address from DHCP	チェックを付けると、DHCP から取得した IPv6 アドレスを表示します。
Obtain DNS Configuration	チェックを付けると、DHCP サーバから DNS の情報を取得します。チェックを付けた場合は「DNS サーバ 1,2」の設定は不要です。
DNS-Server 1	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
DNS-Server 2	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。
電力 (Power)	電源の設定をします。 項目を指定し、「適用 (Apply)」を指定すると設定が反映されます。
電源の冗長構成 (PSU Redundancy)	電源ユニットの冗長構成を選択します。
電源のダイナミックモード (PSU Dynamic Mode)	チェックを付けると、電源供給量に応じた電源ユニットの制御 (ダイナミックモード) を有効にします。
Language/言語 (Language/言語)	表示される言語の設定をします。 日本語または英語を選択してください。 元のメニューに戻る場合は、「←」を押してください。
日付/時刻 (Date/Time)	日時とタイムゾーンの設定をします。 項目を指定し、「適用 (Apply)」を指定すると設定が反映されます。
日付 (Date)	日付を指定します。
時刻 (Time)	時間を指定します。
タイムゾーン (Time Zone)	タイムゾーンを指定します。 「(GMT+9) Osaka, Sapporo, Tokyo」を選択してください。
設定の読み込み (Import Settings)	マネジメントブレードの設定を USB メモリに保存したファイルから読み込みます。 項目を指定し、「読み込み (Import)」を指定すると設定が読み込まれます。
パス (Path)	設定ファイルが保存されている USB メモリのパスを指定します。
ファイル名 (File)	設定ファイル名を指定します。
設定の読み込み (Import Settings)	読み込む設定を指定します。読み込みたい項目にチェックを付けてください。 ・言語 (Language) : 表示言語 ・識別情報 (Identification) : ブレードシステムの名称 ・ネットワーク (Network) : ネットワーク設定 ・電力 (Power) : 電源設定 ・暗証番号 (PIN) : LCD パネル使用時の暗証番号
USB デバイスの状態 (USB Device Status)	USB メモリの状態を表示します。

項目	説明
基本設定ウィザード (Base Config. Wiz.)	マネジメントブレードの基本的な設定をウィザード形式で実行します。 選択すると、実行確認の画面が表示されますので、「はい(Yes)」を選択してください。 詳しくは、「2.2.7 基本設定ウィザード(Base Configuration Wizard)」 (→ P.32)をご覧ください。
設定の出力 (Export Settings)	マネジメントブレードの設定を USB メモリに保存します。 項目を指定し、「Export」を指定すると保存します
設定を選択してください (Select Settings)	保存する設定を選択します。 ・言語(Language): 表示言語 ・識別情報(Identification): ブレードシステムの名称 ・ネットワーク(Network): ネットワーク設定 ・電力(Power): 電源設定 ・暗証番号(PIN): LCD パネル使用時の暗証番号
パス(Path)	設定ファイルが保存されている USB メモリのパスを指定します。
ファイル名(File)	保存するファイル名を指定します。
USB デバイスの状態 (USB Device Status)	USB メモリの状態を表示します。

訂正 「A.2 システム状態情報(System and Status Information)」(関連ページ: 242)

設定項目メニューで表示される内容について、以下の記述に読み替えてください。

項目	説明
システムユニット (System Unit)	ブレードシステムの識別情報を表示します。
システム名(System Name)	システムの名称を表示します。
システムの設置場所 (System Location)	設置場所を表示します。
連絡先(System Contact)	システム管理者の連絡先を表示します。
ラックの名称(Rack Name)	ラックの名称を表示します。
シリアル番号 (Chassis Serial Number)	シャーシのシリアル番号を表示します。
MMB1/MMB2(MMB1/MMB2)	マネジメントブレードの状態を表示します。
モード(Role)	マネジメントブレードの動作モードを表示します。
状態(Status)	マネジメントブレードの状態を表示します。
シリアル番号(Serial Number)	マネジメントブレードのシリアル番号を表示します。
製品名(Product Name)	マネジメントブレードの製品名を表示します。
ユニット図番(Model Name)	マネジメントブレードのユニット図番を表示します。
Mgmt. IPv4 Adr (Mgmt. IPv4 Adr)	マネジメントブレードの Management LAN ポートの IP アドレスを表示します。
Mgmt. MAC Adr (Mgmt. MAC Adr)	マネジメントブレードの Management LAN ポートの MAC アドレスを表示します。
Service IPv4 Adr (Service IPv4 Adr)	マネジメントブレードの Service LAN ポートの IP アドレスを表示します。
Service MAC Adr (Service MAC Adr)	マネジメントブレードの Service LAN ポートの MAC アドレスを表示します。
DNS 名(DNS-Name)	DNS に登録されているマネジメントブレードの名称を表示します。
ファームウェア版数 (Firmware Version)	マネジメントブレードのファームウェアの版数を表示します。
ハードウェア版数 (Hardware Version)	マネジメントブレードのハードウェアの版数を表示します。

項目	説明
サーバブレード(Server Blade)	サーバブレードの状態を表示します。 表示するサーバブレードを選択して「OK」を押してください。
ホスト名 (Host Name)	サーバブレードのホスト名を表示します。
ブレード No (Blade No.)	サーバブレードの搭載されているスロットの番号を表示します。
状態 (Health Status)	サーバブレードの状態を表示します。
システム電力 (SystemPower)	サーバブレードの電源の状態を表示します。
製造元 (Manufacturer)	サーバブレードの製造元を表示します。
製品名 (Product Name)	サーバブレードの製品名を表示します。
ユニット図番 (Model Name)	サーバブレードのユニット図番を表示します。
シリアル番号 (Serial Number)	サーバブレードのシリアル番号を表示します。
CPU 番号 (No. Of CPUs)	サーバブレードに搭載している CPU の数を表示します。
NIC 番号 (No. Of NICs)	サーバブレードに搭載している NIC の数を表示します。
ハードウェア版数 (Blade HW Version)	サーバブレードのハードウェア版数を表示します。
OS タイプ (OS Type)	サーバブレードの OS を表示します。
OS 版数 (OS Version)	サーバブレードの OS 版数を表示します。
ファームウェア版数 (iRMC FW-Version)	リモートマネジメントコントローラのファームウェア版数を表示します。
iRMC IP アドレス (iRMC IP-Address)	リモートマネジメントコントローラの IP アドレスを表示します。
iRMC MAC アドレス (iRMC MAC-Address)	リモートマネジメントコントローラの MAC アドレスを表示します。
コネクションブレード (Connection Blade)	コネクションブレードの状態を表示します。 表示するコネクションブレードを選択して「OK」を押してください。
ブレード No (Blade No.)	コネクションブレードの搭載されているスロットの番号を表示します。
状態 (Health Status)	コネクションブレードの状態を表示します。
製造元 (Manufacturer)	コネクションブレードの製造元を表示します。
製造年月日 (Production Date)	コネクションブレードの製造年月日を表示します。
シリアル番号 (Serial Number)	コネクションブレードのシリアル番号を表示します。
製品名 (Product Name)	コネクションブレードの製品名を表示します。
ユニット図番 (Model Name)	コネクションブレードのユニット図番を表示します。
ハードウェア版数 (HW Version)	コネクションブレードのハードウェア版数を表示します。
ファームウェア版数 (FW-Version)	コネクションブレードのファームウェア版数を表示します。
MAC アドレス (MAC-Address)	コネクションブレードの MAC アドレスを表示します。
ストレージブレード(Storage Blade)	ストレージブレードの状態を表示します。 表示するストレージブレードを選択して「OK」を押してください。
ブレード No (Blade No.)	ストレージブレードの搭載されているスロットの番号を表示します。
状態 (Health Status)	ストレージブレードの状態を表示します。
製造元 (Manufacturer)	ストレージブレードの製造元を表示します。
製品名 (Product Name)	ストレージブレードの製品名を表示します。
ユニット図番 (Model Name)	ストレージブレードのユニット図番を表示します。
シリアル番号 (Serial Number)	ストレージブレードのシリアル番号を表示します。
シリアル番号 (Iden. Serial Number)	ストレージブレードのシリアル番号を表示します。
製造版数 (Product Version)	ストレージブレードの製造版数を表示します。
製造年月日 (Product Date)	ストレージブレードの製造年月日を表示します。
ハードウェア版数 (HW Version)	ストレージブレードのハードウェア版数を表示します。
接続されているサーバブレード (Assoc. Server Blade) 左 (Left) 右 (Right)	ストレージブレードに接続しているサーバブレードを表示します。

項目	説明
ファン (Fans)	システム冷却用ファンの状態を表示します。メニューに戻るには「OK」を押してください。
温度 (Temperature)	温度センサーの位置と温度を表示します。メニューに戻るには「OK」を押してください。
電力 (Power)	ブレードシステム全体の電源の状態を表示します。
システム電力 (System Power)	ブレードシステムの電源状態を表示します。
電力の供給 (Power Consumption)	消費電力を表示します。
利用率 (Utilization Ratio)	現在の消費電力の最大供給電力に対する割合を表示します。
電源ユニット (Power Supplies)	電源ユニットの状態を表示します。 表示する電源ユニットを選択して「OK」を押してください。
PSU No. (PSU No.)	電源ユニットが搭載されているスロットの番号を表示します。
状態 (Health Status)	電源ユニットの状態を表示します。
電力の供給 (Power Consumption)	消費電力を表示します。
利用 (Utilization)	電力使用制限に対する割合を表示します。
製造元 (Manufacturer)	電源ユニットの製造元を表示します。
製品名 (Product Name)	電源ユニットの製品名を表示します。
ユニット図番 (Model Name)	電源ユニットのユニット図番を表示します。
製造版数 (Product Version)	電源ユニットの製品版数を表示します。
シリアル番号 (Serial Number)	電源ユニットのシリアル番号を表示します。

訂正 「A.6 全体の状態 (Health Status)」(関連ページ:246)

太字下線部が削除・訂正箇所です。

誤)

A.6 **全体**の状態 (Health Status)

正)

A.6 **ブレードシステム**の状態 (Health Status **Overview**)

以上